



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。2、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。学校図書館司書の江野（えの）です。本の貸し借りの手続きや、皆さんの本に関する相談にもなります。気軽に声をかけてください。

## 《貸し出しについて》

★2・3年生は**4月20日（木）**から本が借りられるようになります。「貸し出しカード」は図書館に来るときには必ずもってきましょう。

★1年生は、国語の時間に行う「図書館の使い方オリエンテーション」終了後、貸し出しができるようになります。本を読みにくることはできますので、来館してみてください。

## 4月23日は『子ども読書』の日です。

スペイン・カタロニア地方には守護聖人サン・ジョルディを祭る日として、女性は男性に本を、男性は女性に赤いバラをプレゼントするという習わしがあります。この日は「ドン・キホーテ」の作者セルバンテスの命日でもあるため、スペインでは「本の日」とされています。日本でも子どもたちに読書の楽しみや喜びを知ってほしいとの願いから、2001年にこの日を『子ども読書の日』と制定しました。

## 4月23日から5月12日まで『こどもの読書週間』です。

子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年（昭和34年）にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間（5月1日～14日）でしたが、2000年より、今の4月23日（世界本の日・子ども読書の日）～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとっても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がたくさん行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあるのです。（公益社団法人読書推進運動協議会ホームページより引用）



今年のこどもの読書週間（4/23～5/12）の標語は「ひらいてとじた、笑顔がふえた」です。ぜひたくさん本を開いてみてください。みなさんの笑顔がふえますように・・・。

4月24日（月）には図書委員による、絵本の読み聞かせのイベントがあります。楽しみにしていてくださいね。

## 図書館の利用について

開館曜日：月・火・木・金（水曜日は休館です） ※テスト期間中の放課後は閉館します

開館時間：10:00～16:30

貸出冊数：一人3冊まで

貸出日数：一週間（長期休暇の際は休み明けの指定の日に返却）

本の借り方：①借りたい本を持ってカウンターに並ぶ

②カウンターで「借ります」と伝え、自分の貸出カードを出す

⇒バーコード処理をして手続き完了。返却日を確認しましょう。

本の返し方：カウンターで「返却します」と伝える。⇒バーコード処理をして返却完了。

※返却する本は自分で本棚に戻さず、カウンターの図書委員に渡す。

※図書館が閉まっている場合は、図書館前の返却ボックスに入れてください。

翌開館日に司書が処理します。

※月末にその月の未返却者に督促状を渡します。督促状を受け取ったらすぐに返却してください。

リクエスト：図書のリクエストを受け付けています。図書館にない本で、購入してほしい本があるときはリクエストしてください。（本の内容によっては購入できない場合があります）

リクエスト用紙は図書館にあります。記入後、司書に手渡してください。

予約：借りたい本が貸出中のときは、予約をすることができます。予約票は図書館にあります。記入後、司書に手渡してください。

## 《新着図書紹介》

「君のクイズ」（小川哲 著） 本屋大賞 2023 候補作 6位

クイズ番組の決勝に出場した三島玲央は、対戦相手が問題が読まれぬうちにボタンを押し正解し、優勝を果たすという不可解な事態を訝しむ。決勝を1問ずつ振り返る三島はやがて……。

「宙ごはん」（町田そのこ 著） 本屋大賞 2023 候補作 8位

育ての母と産みの母。ふたりの母親に育てられた宙は、産みの母親と暮らすことになるが……。ごはんを作って食べることを通して成長していく姿を描く。

「ラブカは静かに弓を持つ」（安壇美緒 著） 本屋大賞 2023 2位

少年時代のある事件から心を閉ざしてきた橘は、音楽教室への潜入調査を命じられる。目的は著作権法の演奏権を侵害している証拠を掴むこと。美しき孤独なスパイが最後に手にするのは……。

「川のほとりに立つ者は」（寺地はるな 著） 本屋大賞 2023 候補作 9位

2020年の夏。カフェの店長を務める29歳の清瀬は、恋人の松木とすれ違いが続いていた。原因は彼の「隠し事」のせいだ。そんなある日、松木が怪我をして意識を失い、病院に運ばれる。

「空想科学読本」（柳田理科雄 著）

特撮番組やアニメの世界で普通に起きていることを、科学的に考えてきた四半世紀の研究成果をまとめたシリーズ。



本屋大賞2023大賞作「汝、星のごとく」（凧良ゆう 著）  
もあります！読んでみてくださいね！